

九州理学療法士学術大会 2026 in 宮崎

趣意書

学会趣意書

テーマ「未来への躍進～『現在(いま)』を見つめ直す力が『未来』を変える～」

本大会のテーマは「未来への躍進～『現在(いま)』を見つめ直す力が『未来』を変える～」です。現在(いま)は理学療法士の数も増え、様々な分野で活躍する理学療法士が見受けられるようになりました。超高齢化社会で考えると、まだ理学療法士が足りないと言われますが、活躍の場が増えたからこそ足りないという考えも起きています。また、世界と比較すると、日本の理学療法士の数は人口比率で考えても理学療法士大国になりますが、有効求人倍率は依然として高い状態にあります。これにはたくさんの交絡因子があり、理学療法士各々が活躍の場を広げてきたということも因子の一役を担っていると思いますので、未来のために現在(いま)はどうか？をしっかりと知る必要があります。

本学会は現在(いま)までの分野を見つめ直し、自分を含め、未来で活躍する理学療法士を発見する企画をご用意しました。特別講演は山形県立保健医療大学大学院の加藤浩先生に、「未来への躍進」のためのプロフェッショナリズムについてお話頂きます。現在(いま)のプロフェッショナリズムをベースに、未来に向けた考えを起こしてください。同時に、様々な領域で活躍される先生方の未来に向けたご講演を企画しております。先生方のご講演を拝聴することで、「こんなことしたいな！」という共感や、「あんなことがあるんだ！」という発見など、本学会は皆様の未来をお手伝い致します。

一般演題では、発表される先生方の積極的なプロフェッショナリズムに敬意を表して拝聴することで、理学療法学の楽しさを共有でき、心が希望に湧く機会になることでしょう。また、各領域様々な先生方が参加されますので、交流を深めて頂ければと思います。ジェスチャーや表情を含めたコミュニケーションの良さを実感できる対面参加に感謝できるのは現在(いま)だと思います。

宮崎県は、北部は神話と自然、中部は青島をはじめとした宮崎ならではの繁華街、西部は霧島連山の麓である高原、南部は南国の雰囲気味わえますのでこの機会にお立ち寄りください。グルメでは宮崎牛やチキン南蛮、焼酎などは大変有名になってきましたが、最近のトレンドはキャビアです。平成 25 年度に誕生し、日本唯一の熟成キャビアになります。宮崎県の良いところも発見しながら学会をお楽しみください。

皆様の未来の理学療法が本学会で躍進いたしますよう心より祈念いたします。

九州理学療法士学術大会 2026 in 宮崎
大会長 竜田 庸平

開催概要

- 1) 名 称：九州理学療法士学会大会 2026 in 宮崎
- 2) 主 催：日本理学療法士協会 九州ブロック会
- 3) 主 管：一般社団法人 宮崎県理学療法士会
- 4) 大会テーマ：「未来への躍進～『現在(いま)』を見つめ直す力が『未来』を変える～」
- 5) 大会日程：2026 年(令和 8 年)11 月 14 日(土)～11 月 15 日(日)
- 6) 会 場：シーガイアコンベンションセンター
(〒880-0836 宮崎県宮崎市山崎町浜山)
- 7) 参加予定人数：1,000 人程度
- 8) 開催方法：対面方式

9) 参加費

参加種別		金額
日本理学療法士協会会員かつ *1 九州ブロック会会員	事前登録申込	6,000 円
	当日申込	7,000 円
日本理学療法士協会会員で *2 九州ブロック会非会員	事前登録申込	7,000 円
	当日申込	8,000 円
理学療法士非会員	当日申込(対面のみ)	20,000 円
他職種会員(医療・福祉・行政関連)	当日申込(対面のみ)	10,000 円
養成校在学生(有資格者は除く)	事前申込	無料
一般市民の方(機器展示や公開講座への参加のみ)		無料

*1:九州ブロック会 会員 九州県内の会員

*2:九州ブロック会 非会員 九州県外の会員

- 10) 演題募集期間(予定)：2026 年 3 月 2 日(月)～4 月 30 日(木)
- 11) 大会事務局：一般社団法人 宮崎県理学療法士会 事務局
住 所：〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8
E-mail：miyazaki.pt.office@gmail.com 担当：三秋 拓郎

大会プログラム

特別講演 1日目:11月14日(土) 10:20～11:50

「未来への躍進」のためのプロフェッショナリズム

講師:加藤 浩 氏(山形県立保健医療大学大学院)

企画1 1日目:11月14日(土) 13:00～14:30

内部障害領域における“予後を見据えたリハ戦略”～未来をつくる初期介入～

講師:花田 智 氏(都城市郡医師会病院)

企画2 1日目:11月14日(土) 14:40～16:10

脳卒中後の歩行調整障害をどう捉え、どう変えるか～未来への歩行再建を考える～

講師:西 祐樹 氏(長崎大学)

企画3 1日目:11月14日(土) 16:20～17:50

「運動器理学療法「躍進」のためのケーススタディ」

講師:田中 創 氏(福岡整形外科病院)

奥村 晃司 氏(川罵整形外科病院)

多々良 大輔 氏(switch physio)

教育講演① 2日目:11月15日(日) 9:00～10:30

未来につなぐ物理療法—作用機序に基づく“使い分け”と臨床判断

講師:中村 潤二 氏(西大和リハビリテーション病院)

企画4 2日目:11月15日(日) 10:40～12:10

「パラスポーツ関連企画」

講師:緒方 徹 氏(東京大学大学院医学系研究科)

教育講演② 2日目:11月15日(日) 12:20～13:20

“仕組み”を知ることが、未来を変える—若手理学療法士のための診療報酬と制度
の読み解き方～臨床力に“政策力”を加える視点とは～

講師:野崎 展史 氏(日本理学療法士協会)

県民公開講座 2日目:11月15日(日) 14:00～15:00

テーマ:現在調整中

講師:吉山 登志子 氏(北原医院)

大会組織図

